

大船渡湾内観測結果(No.2)

“今月の話題”

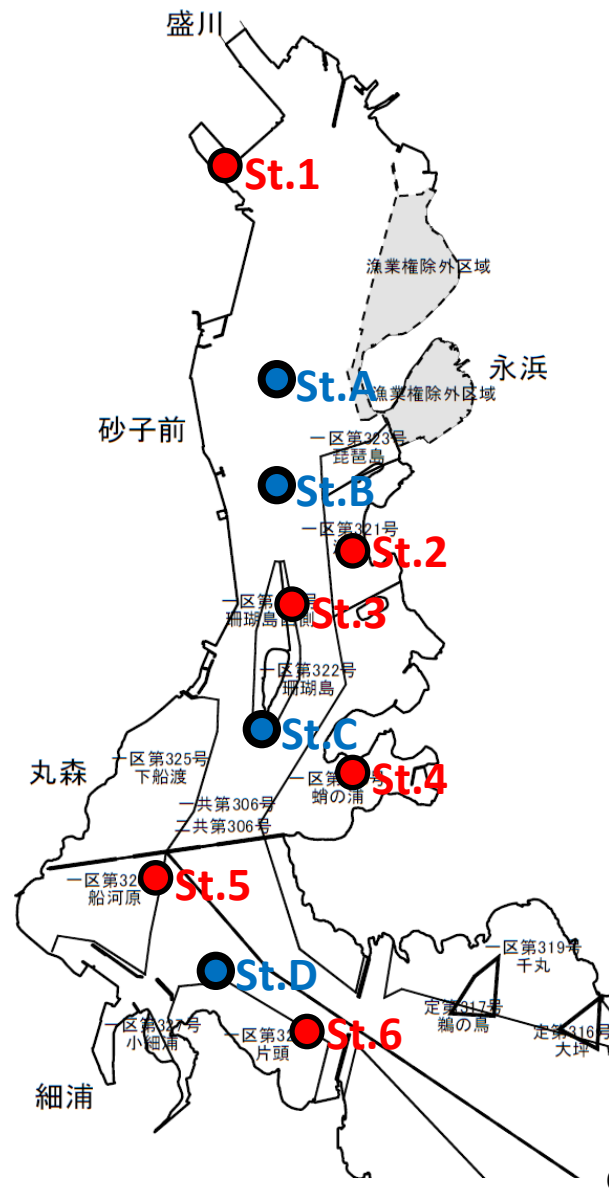
例年よりも透明度が低くなりました。湾内の水温(2.5m、10m層)は10～14°C台であり、例年よりも2°Cほど高くなっています。表面の塩分が15.3～18.5と、非常に低くなりました。これは5月21日の降雨の影響と思われます。

5月23日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は3.0～6.0mであり、平成18年度から平成30年度の平均値と比べて、-4.0～+1.0mの範囲内でした。

水温はSt.1～6の水深2.5mが13.0～14.8°C、水深10mが10.0～10.8°Cでした。平成18年度から平成30年度の平均値と比べて、水深2.5mが+2.5～+3.8°C、水深10mが+1.3～+1.9°Cの範囲内でした。

海域名: 大船渡湾 調査担当: 水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市							
観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日	令和元年5月23日						
観測時刻		10:53	11:10	10:32	10:00	9:50	9:15
天候	晴						
水深(m)		8.2	23.6	26.5	18.4	25.2	37.1
透明度(m)		5.0	6.0	5.5	4.0	3.0	3.0
水色		10	9	10	10	9	9
水温(°C)	表層0m	16.5	16.9	16.5	16.1	15.2	15.0
	水深2.5m	14.8	14.4	14.5	14.4	13.5	13.0
	水深10m	-	10.8	10.7	10.6	10.3	10.0
	海底上1m	10.7	9.1	8.8	9.7	9.2	8.8
塩分	表層0m	18.5	16.7	15.3	17.7	16.3	16.4
	水深2.5m	31.7	32.2	31.9	32.2	31.9	31.5
	水深10m	-	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8
	海底上1m	33.7	33.8	33.8	33.9	33.8	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	102.9	106.8	105.3	99.9	104.5	103.5
	水深2.5m	112.6	109.0	110.2	106.1	109.4	108.1
	水深10m	-	117.8	117.7	110.6	107.9	106.2
	海底上1m	113.3	92.9	72.8	99.8	80.3	78.2
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器での測定値のため参考値扱い	表層0m	0.8	0.8	0.9	0.7	0.7	0.7
	水深2.5m	0.7	0.4	0.6	0.8	0.9	0.8
	水深10m	-	0.7	0.7	0.9	0.8	0.9
	海底上1m	0.6	0.5	0.5	0.7	1.2	1.1



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

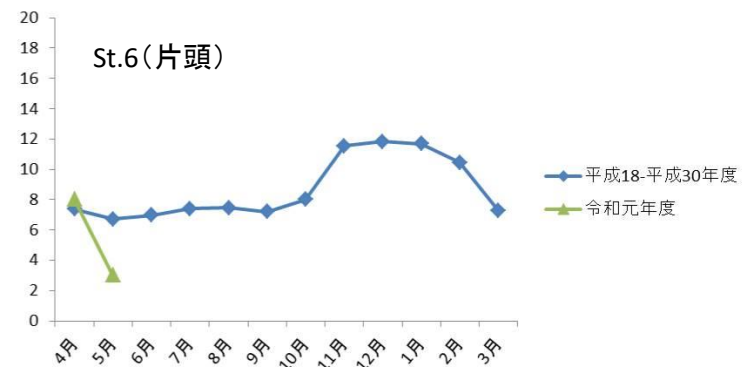
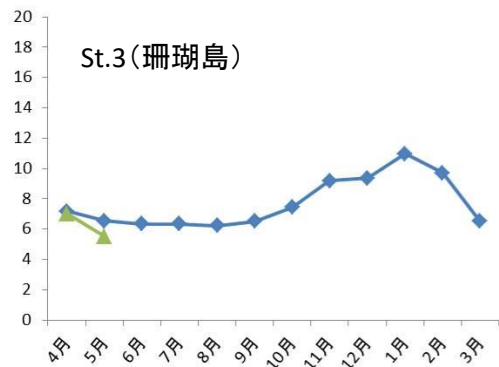
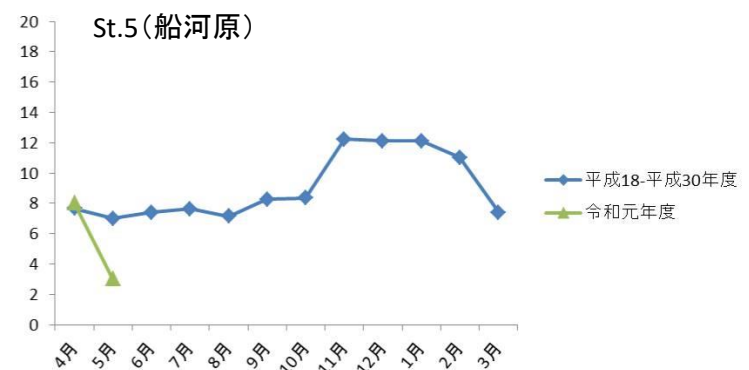
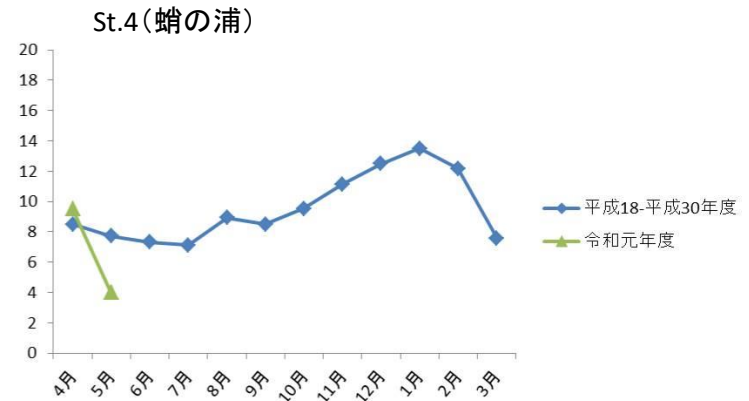
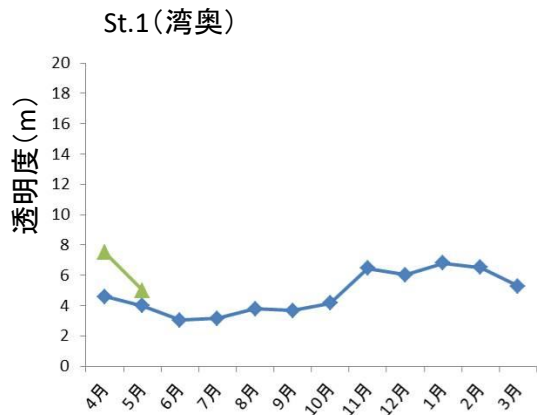


図2 透明度の推移

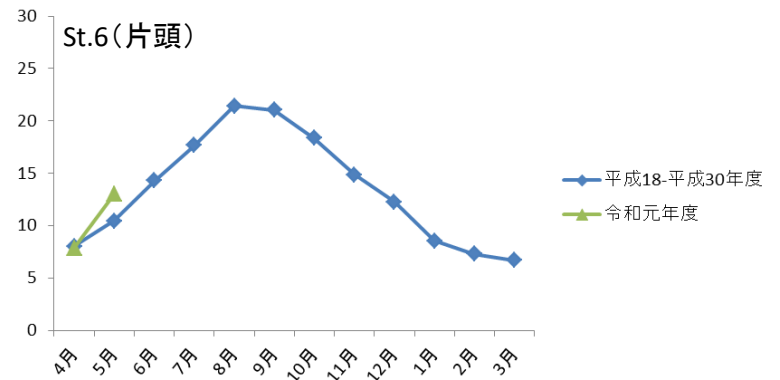
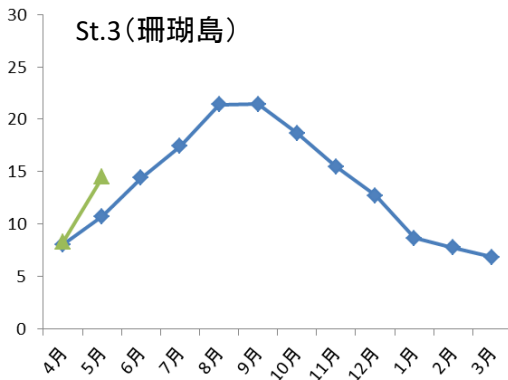
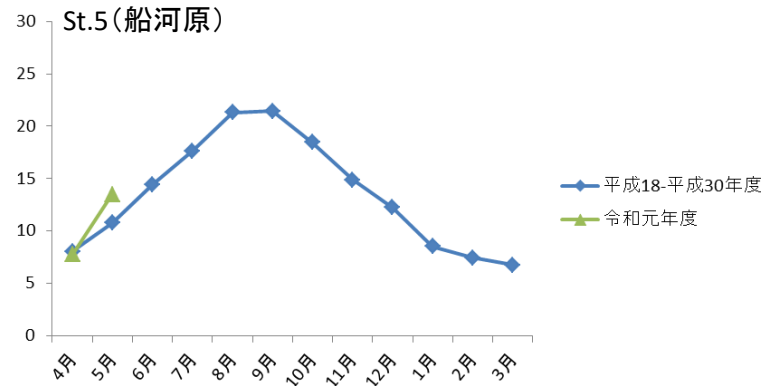
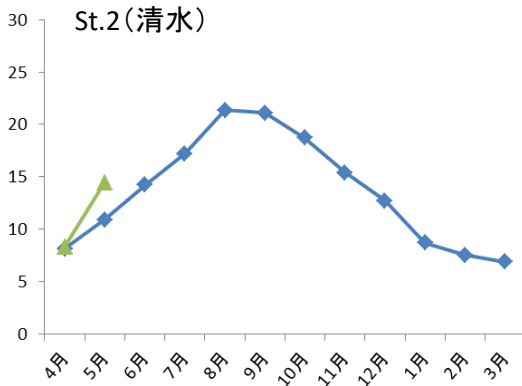
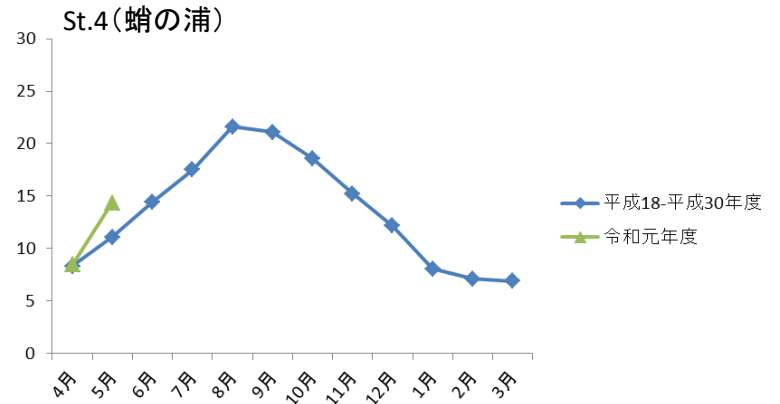
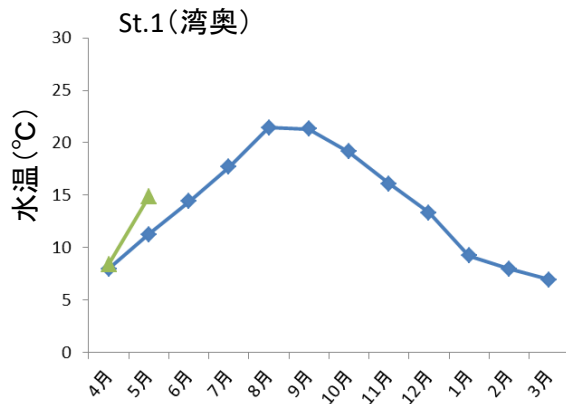


図3 水深2.5mの水温の推移

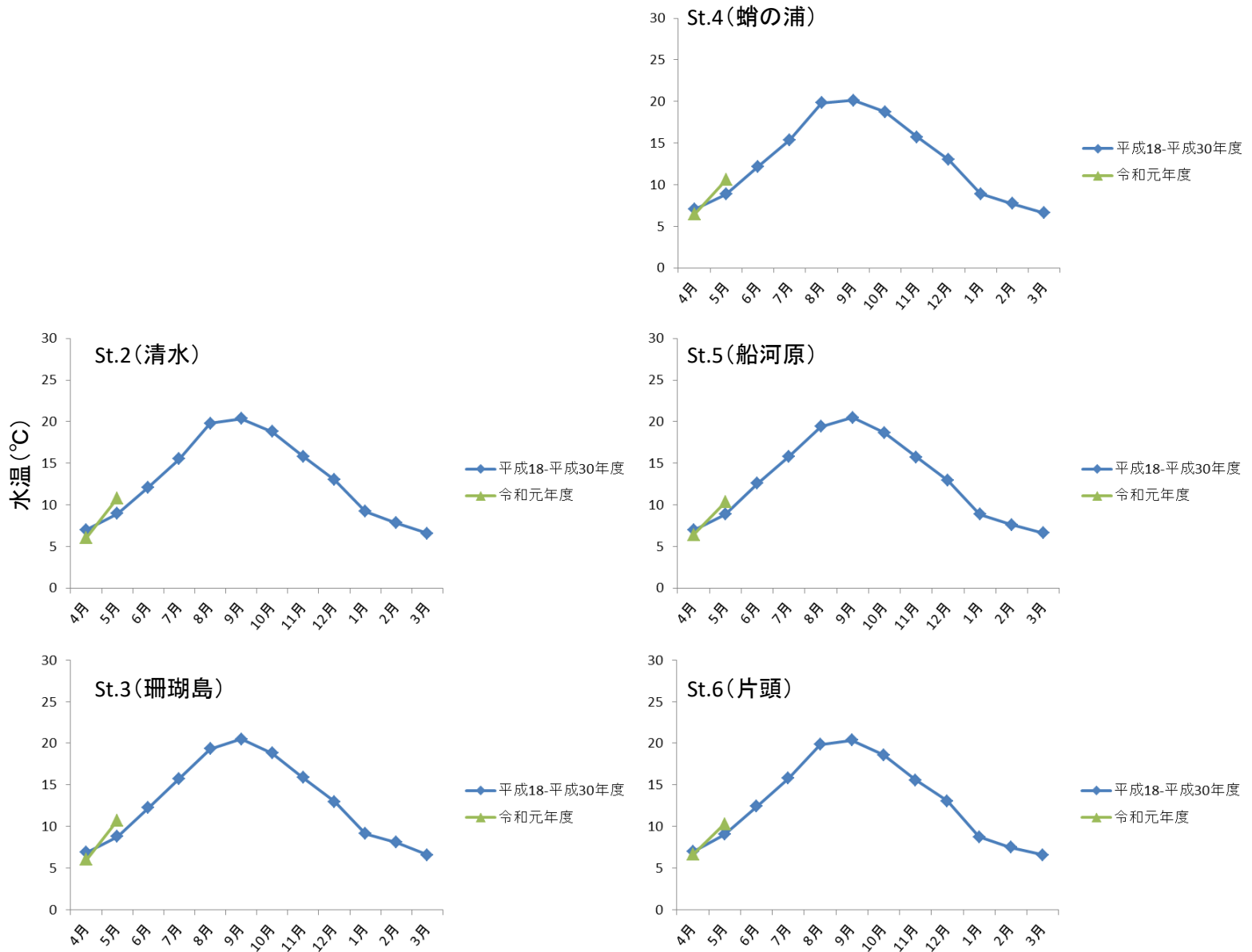


図4 水深10mの水温の推移

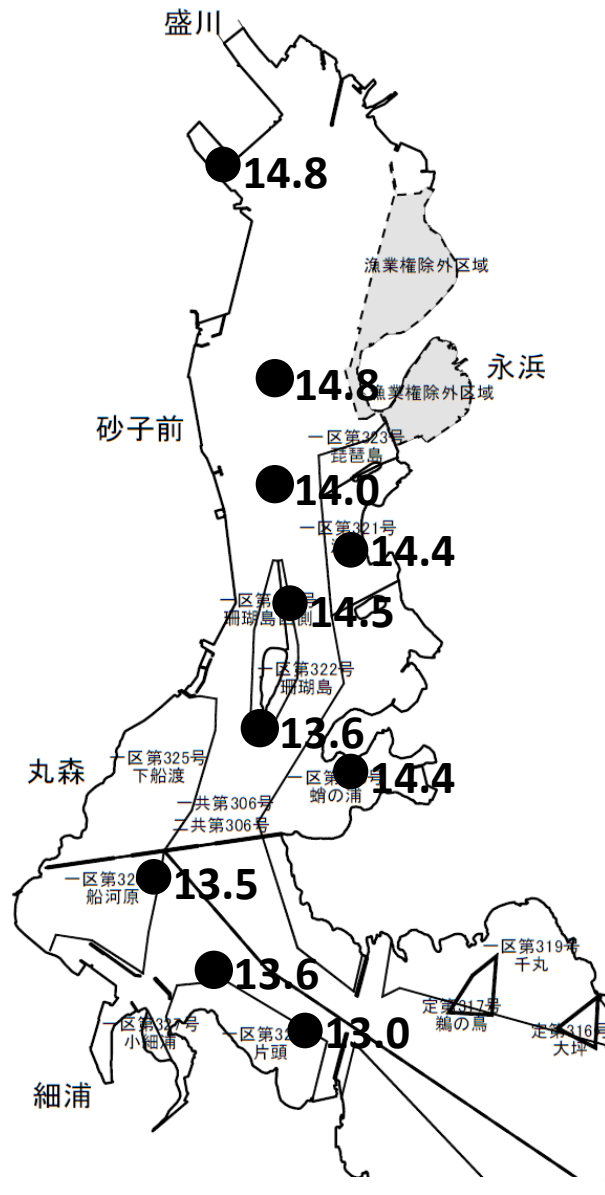


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

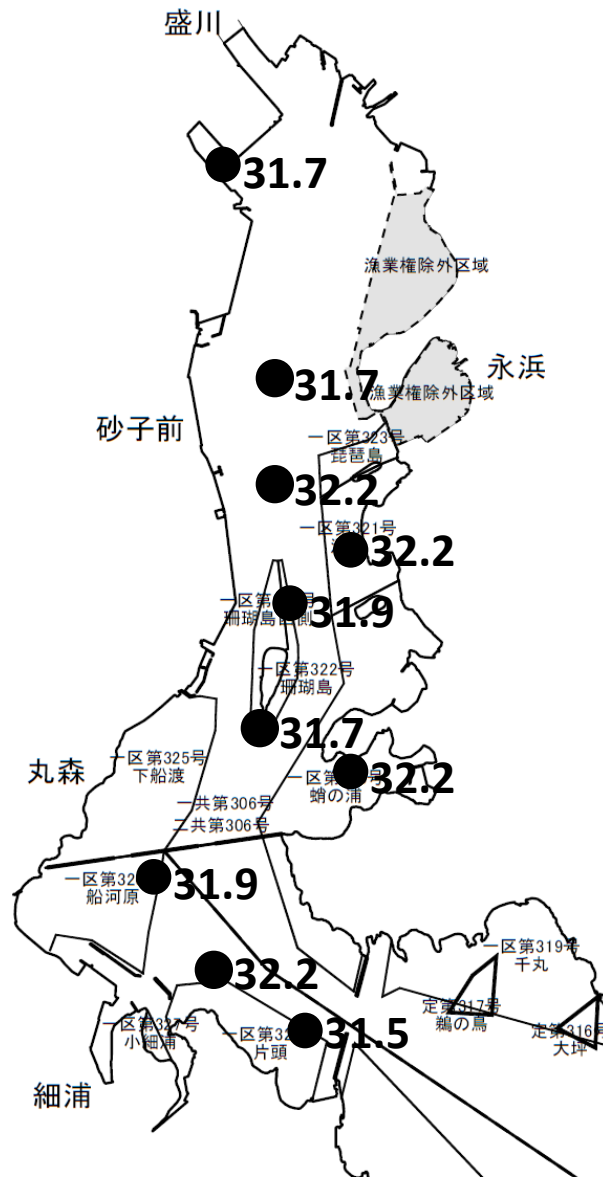


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

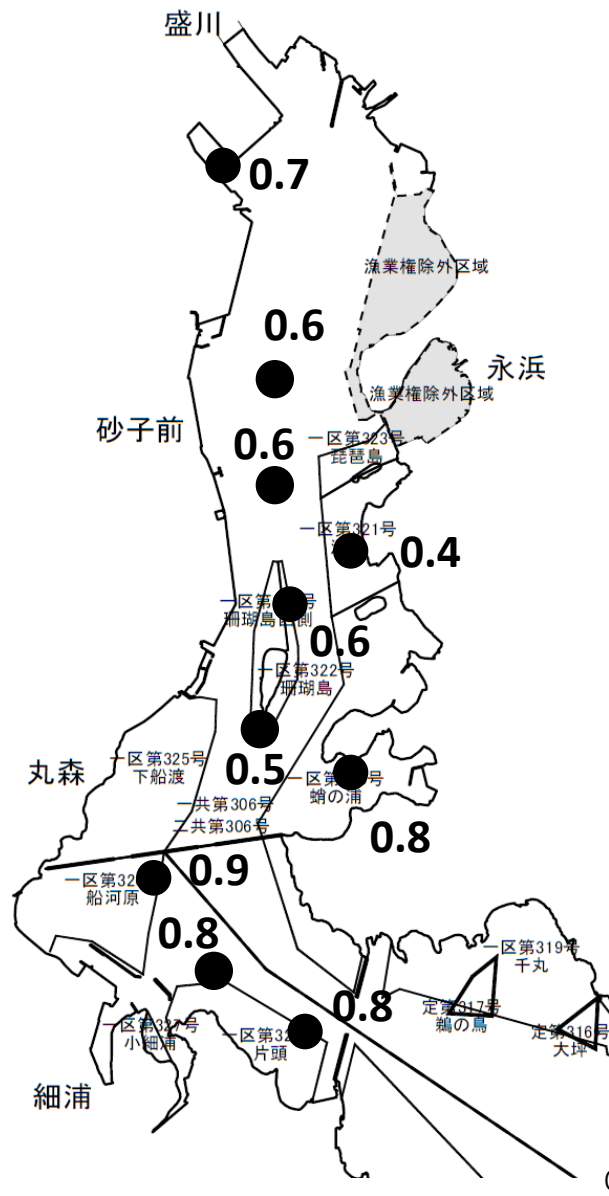


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。観測機器での測定値のため参考値扱い。